

## 高学年の実践2 「偶数と奇数」

### つかむ（課題把握）

- 児童の知的好奇心や探究心をくすぐる課題の設定
- 既習事項との関連を促す学習環境の工夫

■5年生単元「偶数と奇数、倍数と約数」での導入場面。クイズ形式を取り入れ、前時の復習をしている様子。



■既習事項の側面に教室の側面に

■5年生単元「偶数と奇数、倍数と約数」。アニメーションで課題揭示を行い、学習意欲を高める。

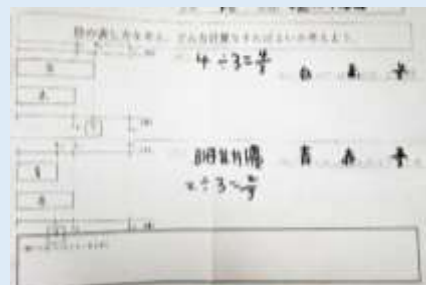
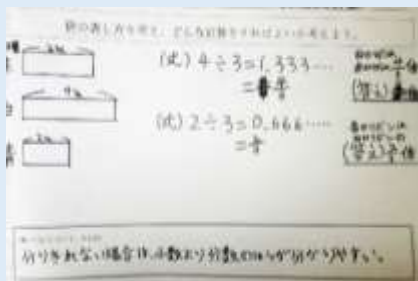
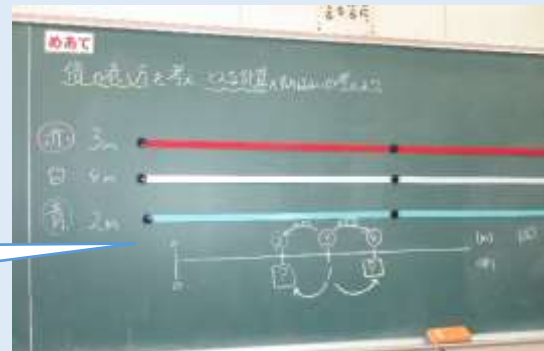
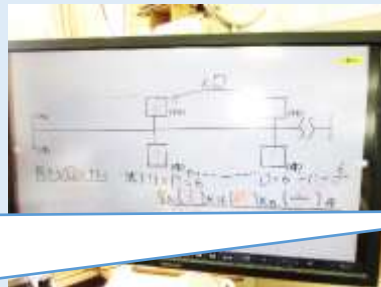


### もとめる（自力解決）

- 必要に応じた具体物や半具体物の活用
- 実態に応じた学習シートの準備

■5年生「分数と小数、整数」の実践

■問題と同じ長さのテープを準備することによって、より具体的に学習することができる。



■たっぴーシートを2種類準備しておき、自力解決がなかなか進まない児童を集め、個別指導をした後にもう1つのたっぴーシート（ここではテープ図入り）を配付し、考えさせた。